

出雲三十三番観音霊場
第十四番札所 蓮花寺

三十三年に一度の盛儀

平成の総佛
御開帳

平成28年 9月18日(日)・19日(月祝)・20日(火)
(3日間御本尊一般公開 午前9時～午後5時)

阿用村蓮花寺は根本堂三間四面にして西向きなり…
本尊十一面観世音は…古来より秘佛の霊像たり…
融山大祝禪師が開き給う山とかや古より不思議の霊山なり…
江戸時代古文書「出雲観音霊場記」より抜粋

行事予定

9月18日(日)

9:30～ 御本尊開帳法要

10:30～ 転読般若祈禱

檀信徒総回向

11:30～ 記念法話

(一畑薬師教団総本山)
管長 飯塚大幸老師

9月19日(月)

9月20日(火)

両日共に御祈念随時受付

※期間中御本尊の写真撮影は禁止させていただきます。

曹洞宗 明峰山「蓮花寺」縁起



【由緒・歴史】

江戸時代の寛政年間（一七八九〜一八〇〇）に記された「出雲観音霊場記」には次のように記されている。「大原郡東阿用村明峰山蓮花寺、根本堂三間四面にして西向きなり、本尊十一面観世音守は賢門子の御作なり、二臂の坐像にして古来より秘佛の霊像たり、往古は天台宗なりしが古より曹洞宗となり融山大祝禪師の開き給う山とかや、古より不思議の霊山なり」と。

蓮花寺は標高三〇〇メートルの高山にあり、出雲三十三番観音霊場の第十四番札所である。また、昔から霊験あらたかな古刹として、当病平癒無病息災等の祈禱祈願を行う祈禱寺でもある。昭和四〇年代後期頃まで、境内には札打ちの霊場巡りの人が泊まる宿屋があり、また本堂に籠って願をかけたたり、お百度参りされる石見部県外の檀信徒者も多かった。

蓮花寺の歴史は古く、寺伝によれば奈良時代前期の天平年間（七二九〜七四八）行基菩薩が開創、又は奈良時代後期の延暦年間（七八二〜八〇五）伝教大師が開創したとも伝えられている。

南北朝時代の正平年間（一二四六〜一三六九）大東庄南北を領していた土屋氏及び伊藤氏が伯耆の名和氏と相呼応し、蓮花寺城に拠って勤王の兵を挙げた事が伝えられている。

これによって一時期衰退したが、室町時代初期の応永年間（一三九四〜一四二七）今から約六百年位前、本寺善明寺開山総光寺八世「融山大祝禪師」が再興された。また、蓮花寺は昔天台宗の大寺で一山に十二坊を有する大刹であったという。

戦国時代の室町時代永正五年（一五〇八）阿用城城主の桜井宗的が立てこもる磨石城は、尼子経久により攻め落とされた。その際、蓮花寺の古事録も磨石城と共に兵火に焼かれ焼失したという。その後、天台宗より曹洞宗に改め法灯絶えることなく今日に至っている。

【山号・寺号の由来】

古伝によれば昼は瑞雲たなびき、夜は光明輝き、観音様がこの山に移りたいとお告げを感じ、元の低い場所より現在地に本堂を移転建立され、山号を「明峰山」とされた。又、周囲の山々が蓮華の花咲くような山並みだったので、寺号を「蓮華寺」とされた。後に「蓮花寺」と改められたと言ひ伝えられている。

【本堂】

現在の蓮花寺本堂は江戸時代の文政十一年（一八二八年）、当山六世完成秀全和尚の代に再建された。その後、

明治末期の明治四十三年（一九一〇年）、十三世弘済義仁和尚の代に、単層屋根から現在の重層入母屋造りにされた。そして大正末期より昭和初年にかけて萱葺きから現在の瓦敷きに屋根替えされた。本堂内部は総檜造りの荘厳な古代寺院建築様式が用いられており、当時の宮大工棟梁の技術水準の高さが伺える。

【御本尊】

本尊の十一面観世音菩薩は仏師賢門師の作で戦国時代の焼失も免れ、三十三年毎に御開扉される坐像の秘仏霊像である。（近年の御開帳法要は昭和二十五年、昭和五十八年、平成二十八年厳修）本尊の両脇立は不動明王と毘沙門天王である。

【その他、境内佛等】

・秋葉三尺坊大権現：寛政九年（一七九七年）静岡の可睡斎より勧請された天狗の秘佛。毎年八月二十日夜に祈禱大祭あり。

・奥の院護符井戸：昭和六十年島根県名水百選「歴史の泉」に選定。井戸の霊水は古来より皮膚病や一切諸病の薬水として、ご利益のある清水とされている。

・鐘樓門（山門）

明治二八年（一八九五年）に建立された山門を兼ねた鐘樓門。中には出雲観音霊場三十三番札所全寺院の御本尊画像が安置されている。

・弘法大師石仏

当山に登る坂道や境内等には、四国八十八ヶ所札所の全寺院名が記載された弘法大師の石仏あり。四国霊場を巡拝すると同じご利益功德があるとされている。

・山桜

社日大明神の後ろ側に山桜（平成二十四年雲南市桜百選一本木の部指定）直径約2m、幹回り約4m、樹齢不詳の古木がある。

・標高

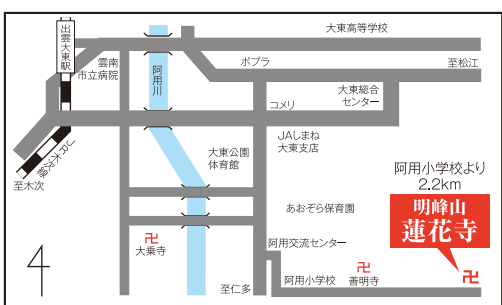
蓮花寺三〇〇m、くのじ山展望台三二〇m、山城跡磨石山三〇九m。

【定例祭】

・定例山門恒期法要（大般若祈禱、檀信徒総回向）
毎年九月第三日曜日に厳修

平成二十八年

明峰山蓮花寺 十六世住職 佐々木泰道 記



鐘樓門



冬の本堂



本堂内陣



秋葉山



奥の院御符井戸



旧山道石仏

- 蓮花寺山道は一車線の坂道で車の交差が出来かねます。山頂駐車場は許可車両のみで一般車両は駐車できません。
- 体力と健脚に自信のある方は徒歩でお参りください。阿用小学校周辺より歩いて片道約30分位です。
- 阿用地区要所に臨時駐車場を確保しておきます。そこからジャンボタクシー（無料）で送迎いたします。
- 特に初日法要日は混雑が予想されます。当日は誘導係員の指示に従ってください。
- 期間中、御本尊の写真撮影は禁止させていただきます。
- 御開帳法要が円滑無事に円成いたしますよう、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。（山主）